

4月からの新たな生活には、いくつかの柱がある。一番は、園長業務である。ひと月が経過した。もっとやるべきことがある、もう少しやれることがあるという思いを抱きながらも時間が過ぎていく。勤務時間後のソフトテニス業務は、見学期間を終え、所属先が決まってきた。体力低下と闘いながら細々と取り組んでいきたい。

新聞の効果は大きい。まず、福島民友新聞の随想欄を担当する新しい執筆者として、紙面に紹介していただいた。それをご覧になった方が、「新聞を見ました」と声をかけてくださる。4月20日（土）に「花咲山」という原稿が掲載された。さらに多くの方々から反応があった。最初の原稿なので、自分らしいものをと考えた。次は、5月28日（火）に掲載となる。

他にもある。スクールアシスタントである。各学校からのオーダーに応じて、授業を参観しての指導助言や講話などを行う。事前に登録したメンバーが担当する。それが、退職した校長先生方である。私も、その中に入れていただいた。私の場合は、小学校国語、中学校国語、読解力、リーディングスキル、国際理解教育がメニューとなる。すべて、今まで自分が取り組んできたものである。ソフトテニスもそうだが、いわば恩返しのために行っている。恩返しをしながら、お世話になった方々への感謝の気持ちを込め、自分を高めていきたいと考えている。

だが、スクールアシスタントの場合は、オーダーが入らなければ、開店休業状態となる。先日、幸いにも最初のオーダーをいただいた。リーディングスキルである。早速、話の構成を考え、資料づくりに着手した。こういった場合、過去に同じようなオーダーがあり、資料を作成してあったとしても、それを見ることはしない。常に、ゼロからつくるようにしている。そうしないと、自分の研修にはならない。いつも、そのときのベスト版をと心がけている。それが、ご注文をいただいた方への誠意というものであろう。

ゼロから始めるということは、あらゆる資料やデータに目を通すということである。今回であれば、リーディングスキルの分厚いファイルが対象となる。それも2冊ある。かなりの量である。その中から、取捨選択していく。どうしても、あれもこれもとなりがちである。相手が何を望んでいるか。何が必要となるのか。求められているのはどんなことか。様々な視点から、絞り込んでいく。どのくらい絞ることができるか、こちらの力量が問われる。

5月8日（水）が、スクールアシスタントとしての初仕事となった。続けて、5月15日（水）が2回目となる。今までも、同じような仕事は何度も行ってきた。だが、今回からは立場が違う。現場の人間ではない。そのことがいい方に働くようにしたい。自分が、どの程度できるのか、どんな反応があるのか、どのくらい恩返しができるのか、自分を試していきたい。